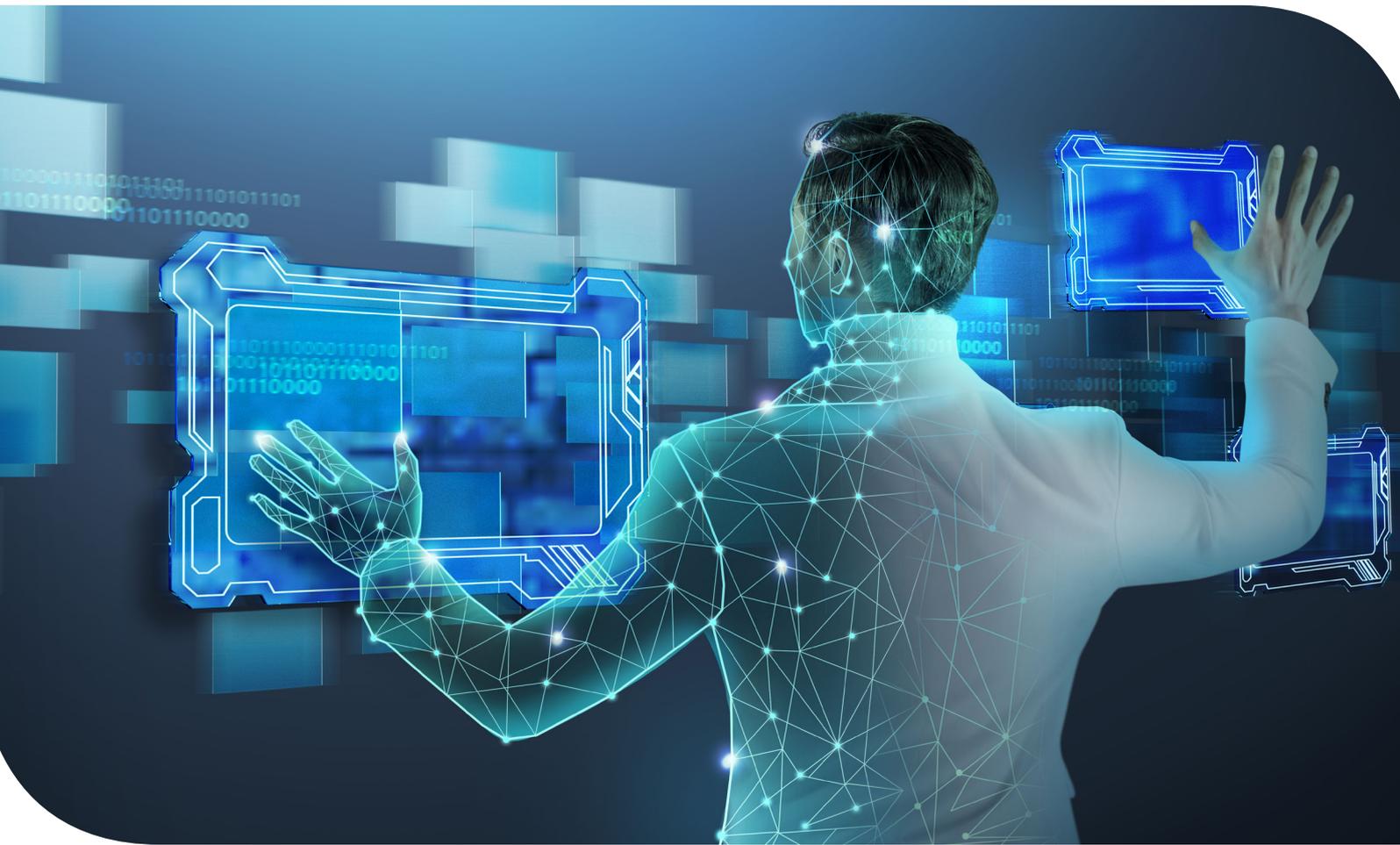


江原道

韓国における 「精密医療産業のメッカ」江原！

文：江原道データ産業課



江原道は、四次産業の中核産業として注目されつつある精密医療産業を江原道の新成長エンジン事業として育成し、精密医療ビッグデータ産業のメッカとなるべく、サムスンソウル病院と道内の大型病院など10院との協業を通じて医療データを活用し精密医療ビッグデータサービスのプラットフォームを構築・運営する計画です。

 K-CLOUD PARKの俯瞰図



環境にやさしい データ産業融合団地 「K-CLOUD PARK」 の造成

ビッグデータが世界の経済をリードする第四次産業革命の時代を迎え、江原道は春川市に位置する昭陽江ダムの冷たい水を利用した温度差エネルギーを基盤とする「環境にやさしいクラウドビジネスプラットフォーム融合団地(K-CLOUD PARK)」の造成を進めています。団地内にデータセンター、精密医療企業、中小企業、公共企業、金融サービス企業を誘致してグローバルビッグデータ産業の基盤を整えており、そのうち精密医療ビッグデータ産業をK-CLOUD PARKの中核拠点産業として育成し、江原道を精密医療産業のメッカへと成長させるべく、重要事業として推進しています。

K-CLOUD PARKの事業概要

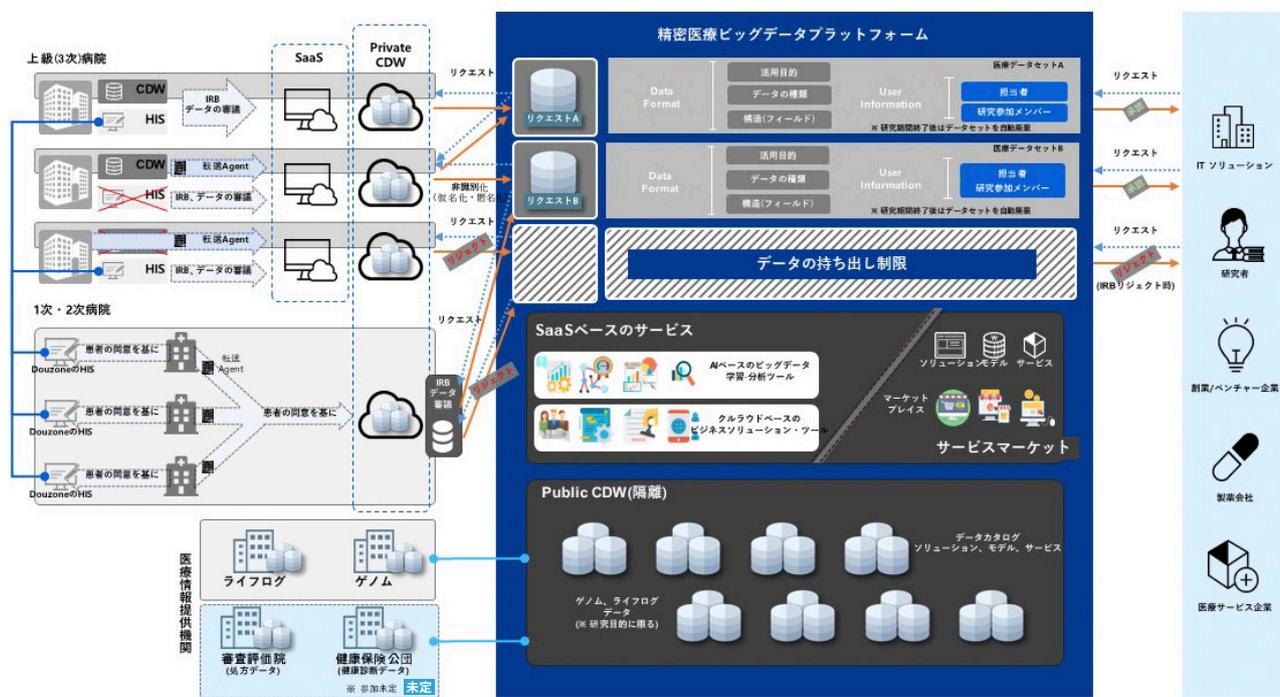
- **事業期間** | 2020年～2025年(6年間)
- **事業主体** | 江原道、春川市、K-Water (韓国水資源公社)
- **事業費** | 3,872億ウォン (国費 1,298億ウォン、地方費 357億ウォン、民間 2,217億ウォン)
- **主要事業**
 - (革新スタートアップ) 公共企業が先導する革新スタートアップ空間および生態系の造成
 - (企業の成長) 成長段階に合わせた企業空間および運営生態系の造成
 - (グローバル融合) グローバルネットワーク、産学研の協力に向けた空間および支援

精密医療産業の育成に向けた 「精密医療ビッグデータ サービスプラットフォーム」 構築の推進

今日の精密医療ビッグデータ産業においては、断片化や標準化されていない各医療データ・および医療データを収集・保存・処理・分析できる統合プラットフォームが存在しないため、データの活用が困難であることが課題となっています。

そのため、現在、精密医療産業の開発は単発的な取り組みにとどまっています。江原道はこのような精密医療産業の課題を解決し、精密医療分野をリードするため、2020年から医療データの提供が可能なプラットフォームを構築しています。今後は統合・標準化された医療データを提供し、産業的な活用を可能にしていく計画です。

江原精密医療ビッグデータサービスプラットフォームの構築図



95億件の良質な医療データの提供および活用に向けた全分野協力体系の構築

プラットフォームの構築に必要な病院臨床情報データの標準化のために、CDW(Clinical Data Warehouse)の構築・運営経験のあるサムスンソウル病院がノウハウを提供し、ビッグデータプラットフォームの構築経験豊富なDouzone Bizon社がプラットフォームを開発しています。また、道内の病院を含む病院10院、ゲノム関連企業1社、ライフログ機関1社、法務法人1社、医療ソリューション企業2社、製薬会社1社など、計19機関が参加し、医療データの標準化、プラットフォームの開発、関連法令の検討、新薬の開発、人工知能を基盤とするCDSS(臨床意思決定支援システム)の開発、人材育成など精密医療産業全般にまたがる協力体制を構築しています。

精密医療産業の育成を通じた江原道の問題解決

江原道は、昭陽江など水資源保護のために製造産業分野の開発が制限されており、産業が発展しにくい構造になっています。地域経済の停滞により医療機関やインフラが不足し、道民に良質の医療サービスが提供されないなど、医療格差も深刻な状況です。

江原道は「精密医療ビッグデータサービスプラットフォーム」を活用して環境にやさしいデータ産業を育成し200社の医療AI開発企業を育成・誘致および約3,700人分の良質の雇用を創出、地域経済の活性化、ひとりひとりに合わせた精密医療サービスの提供により医療サービスが遅れた地域に住む道民に良質の医療サービスを提供するなど医療サービス格差を解消していく計画です。